

平成29年 第2回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	4 番	玉 木 実	登壇一問一答
2	1 2 番	増 田 葉 子	一問一答
3	2 番	稲 葉 健	一問一答
4	2 0 番	酢 崎 義 行	一問一答
5	1 3 番	松 尾 榮 子	一問一答
6	1 9 番	山 田 喜代子	登壇一問一答
7	8 番	岩 崎 成 子	一問一答
8	1 5 番	小 川 義 人	一問一答
9	1 4 番	山 本 清	登壇一問一答
1 0	9 番	海老原 作 一	登壇一問一答
1 1	1 1 番	橋 本 和 治	一問一答
1 2	1 6 番	軍 司 俊 紀	登壇一問一答
1 3	7 番	浅 沼 美弥子	一問一答
1 4	1 0 番	近 藤 瑞 枝	一問一答
1 5	6 番	櫻 井 正 夫	登壇一問一答
1 6	1 7 番	金 丸 和 史	一問一答
1 7	1 番	伊 藤 真 一	登壇一問一答
1 8	3 番	小 川 利 彦	登壇一問一答

# 質 問 1

質問者 4番 玉 木 実

- 1 公共施設マネジメントについて
  - (1) 資産管理の手段と窓口について
  - (2) 組織の大幅な変更や改変まで視野に入れているか
    - ① P P P / P F I の活用について
  - (3) 具体的に
    - ① 学校プールについて
    - ② 歴史資料館
    - ③ 旧印旛村の構造改善センターの今後
- 2 木下交流の杜歴史資料館、印旛歴史民俗資料館の入場者と職員報酬費用対効果について
  - (1) 横綱 鳳資料館について
- 3 スポーツ関連施設の夏季早朝開設によるサービス向上について
- 4 選挙について
  - (1) 印旛地区及び本埜地区のポスター掲示場について
    - ① ポスター掲示場の位置について
    - ② 老朽化した掲示位置への対応について
  - (2) 明るい選挙推進協議会と選挙管理委員会事務局との関係
    - ① 投票率向上のための方策について

# 質 問 2

質問者 12番 増 田 葉 子

- 1 シティセールスの現状

人口が減少していくなか、都市間で人を奪い合う時代となりました。どの市でも若い世帯に選んでもらうにはどういうイメージを、どんな施策を打ち出すべきか知恵を絞っています。印西市でも平成28年3月に、定住人口の

増加を目的に「シティセールスプラン」を策定していますが、その後、実施計画策定の現状はどのようになっているのでしょうか。現状を伺います。

## 2 子ども発達センターの体制について

平成27年12月議会で、子ども人口の急増により「子ども発達センター」のキャパシティが危機的な状況にあるのではないかと質問し、人的拡充と「療育相談」の対象年齢拡大を訴えましたが、その後の検討は進んでいるのでしょうか。昨年度及び今年度の利用登録者数、人的配置等の状況伺います。

## 3 これからの教育相談のあり方

家族の状況が多様化し、子どもたちが抱える問題も多様化しています。教育・学業面の適応相談だけでなく、カウンセリングやソーシャルワークといった福祉的視点の相談支援が必要な場面が増えていることと思います。学校教育における福祉専門職の配置の現状を伺います。

## 4 企画提案型協働事業の行政側の体制について

市民のアイデアを政策に反映させ、市民と協働でまちづくりを進めていくために企画提案型協働事業が始まって十年以上経ちました。「アイデアの提案」をした市民からは、提案を審査され合否が判定され、市の言う「協働」とは単にお金を出すだけなのか等、様々な声が届いています。市民との「協働」とはなんのでしょうか。これまでの取り組みの評価を伺います。

## 5 避難行動要支援名簿の検討状況について

平成28年3月議会で、避難行動要支援者名簿の現状や問題点について質問し、名簿管理の難しさから個別計画づくりが進んでいない状況が明らかになりました。防災部門が中心となって現在の仕組みを検討・見直していくという答弁をいただきましたが、その後、新たな仕組みは構築できたのでしょうか。検討状況を伺います。

# 質 問 3

質問者 2番 稲 葉 健

## 1 市民団体の情報交流の為の支援について

- (1) 各団体（市内）の情報発信は各団体で行っているが、市として各団体の為の情報発信の支援についてどのように考えているか伺う。
- (2) 印西コンシェルジュの構築について

## 2 芸術文化の振興について

- (1) 文化ホールの活用について
- (2) 市内若手芸術家の育成及び支援について
- (3) 各コミュニティーセンターの老朽化対策について

## 3 市制施行20周年記念事業について

- (1) 印西市市制施行20周年記念事業推進市民会議についての市の見解を伺う。
- (2) 20周年記念事業として行った中で継続する事業について伺う。

## 4 福祉関係について

- (1) 子供の発達に不安がある方への対応について
  - ①ハード面対応について伺う。
  - ②ソフト面の対応について伺う。

## 5 印西市中心市街地活性化について

- (1) 印旛高等学校跡地活用計画実施後の市の考えを伺う。

## 6 市と市民団体との協働事業のあり方について

- (1) 補助金のあり方について伺う。
- (2) 市と市民団体との協働事業のあり方について伺う。

# 質 問 4

質問者 20番 酢 崎 義 行

## 1 地籍調査事業着手にあたって

今年度の新規事業のひとつに地籍調査事業があります。この事業は、国家の3要素（国土・人民・主権）のひとつである国土の管理として重要な位置付けにあることは言うまでもありません。国内の土地は一筆ごとに管理されていて登記簿謄本及び公図または測量図という形で、法務局に整備されているもののその正確性はまちまちで先進国であるといわれている日本としては、改善しなければならない問題だと思えます。そして、これは、市の自治事務となっています。

一方、地理情報システム（GIS : Geographic Information System）の活用が進むにつれて、総合的かつ体系的な整備を図っていくことが認識され始めました。地籍調査もその重要な要素の一つとなっています。

### (1) スケジュールについて

- ①事業のスタートとなる今年度の予定を伺います。
- ②地籍調査は一般的には、ある地域ごとに3年のサイクルで進められますが、そのルーティンワークに入るのは何年後と考えているか。

### (2) 事業実施について

- ①実施の順序について
- ②実施方法について

### (3) 実施範囲について

- ①ニュータウンエリアの取り扱いについて
- ②土地改良区エリアの取り扱いについて
- ③測量データの引継について

### (4) GIS の活用内容について

- ①印西市ではGISをどのように活用しているか。
- ②地籍調査完了後、筆界が正確となった場合、どんなメリットがあるか。

# 質 問 5

質問者 13番 松 尾 榮 子

## 1 千葉ニュータウン事業関連課題について

- (1) 企業進出、住宅開発等の新たな動向。
- (2) 事業用地等処分における周辺環境とのマッチングについて  
処分内容等について市は把握しているか。
- (3) 事業区域外代替地の処分について  
千葉ニュータウン事業に関連して、企業土地管理局が代替地等として保有している事業区域外の土地の処分の動向について。

## 2 景観行政について

- (1) 印西市景観まちづくり基本計画について
  - ①基本計画の位置づけ。
  - ②類型別の景観形成方針について。
  - ③重点地区の考え方について。
- (2) 景観計画策定について
  - ①景観まちづくり基本計画の反映について。
  - ②都市マスタープラン等との整合性・連動について。
  - ③地区ごとの特性・課題について。
  - ④景観を阻害する問題点について。
  - ⑤策定に向けての体制。
  - ⑥策定に向けてのスケジュール。
- (3) 景観条例について

## 3 住みよさ実感のまちづくり

～市民融和・コミュニティの醸成について

- (1) 地域のイベント継承への支援。
- (2) 集いの場の創出（市内見学バスツアー等）。
- (3) 高齢者クラブ、市民スポーツ・サークル団体等活動の活性化。
- (4) 情報の共有（広報紙等の配布について）。

## 4 交通問題について

- (1) 千葉ニュータウン中央駅圏・牧の原駅圏から平岡自然公園へのバス便について

# 質 問 6

質問者 19番 山 田 喜 代 子

- 1 市民の足を守る公共交通のあり方について
  - (1) 北総線、ふれあいバス、路線バス、デマンド交通等の公共交通のあり方についての市長の見解はどうか
  - (2) それぞれの課題についての認識はどうか
  - (3) それぞれの課題解決に向けて、どう取り組んでいく考えか
  
- 2 学校給食の無償化と、自転車通学の生徒への補助を
  - (1) 学校給食法は食育の推進をかかげ、憲法26条は「義務教育は、これを無償とする」としている。日本共産党の調査では、公立小・中学校の給食費の保護者負担を全額補助する市町村は55あることがわかった。又2市町村が今春から始めている。給食費の一部を補助する市町村は少なくとも362あることも明らかとなった。市として、補助する考えはないか伺う
  - (2) 自転車通学への生徒に自転車、ヘルメット等購入時の補助をする考えはないか伺う
  
- 3 高齢者、障がい者へのごみ出し支援の実施を我孫子市では、「ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業」を平成15年2月から実施している。今年1月付けで、市内在住の中途失明、現在、全盲状態の市民からの訴えがあった。早急な実施を求める。考えはあるか。
  
- 4 わが街事典、印西市くらしの便利帳について

「市の紹介や市役所での手続きに関する情報、医療情報など、市民の皆さまの生活に密着した情報を掲載しています。」と市長のあいさつが載っている便利帳は、どう日々の生活で活用されているだろうか

  - (1) 市民の利用状況の把握はされているか
  - (2) 発行にあたっては、市の費用負担は無いと聞いているが、現状はどうか
  - (3) 編集後記には、地域企業の発展につなげることを目的として発行した、とあるが検証されたのか



# 質 問 7

質問者 8番 岩 崎 成 子

- 1 再生可能エネルギーの普及と新たな問題について
  - (1) 再生可能エネルギーの普及について
    - ①現在の国・県の取り組み状況は。
    - ②現在の市の取り組みと普及実績はどのようなものか。
  - (2) 大規模な太陽光発電システムの設置による問題について
    - ①現在、どのような問題が起きているか市は把握しているのか。
    - ②問題点の解消のため市による規制等が必要と考えるがいかがか。
  
- 2 医療施設整備の状況について
  - (1) 脳血管疾患や大腿骨の骨折等により身体機能の低下を来した方々が急性期病院から転院して効果的な治療を行うために回復期リハビリ病院を必要としている。そこで伺う。
    - ①リハビリ病院の整備状況は。
  - (2) 印旛日本医大駅周辺に整形外科等の医療施設整備の計画はあるのか。
  
- 3 道路の整備について
  - (1) 道路の陥没や破損等が原因で転んでけがをしたと市民の声が私のところに数件届いている。そこで伺う。
    - ①現況は把握できているのか。
    - ②どのような対応を行ってきたのか。
    - ③安心・安全のための対応策を伺う。
  
- 4 公共交通の充実について
  - (1) 高齢者等交通弱者は、公共交通の充実を願っている。そこで伺う。
    - ①デマンド交通への取り組みの進捗状況を伺う。

# 質 問 8

質問者 15番 小 川 義 人

## 1 情報セキュリティについて

先日、世界中で被害をもたらしたサイバー攻撃があった。印西市においても向き合わなくてはならない課題であるが、対応はどのような考えであるか。

(1) サイバー攻撃への対策について

(2) 市内の点検状況について

①パソコンソフト

②職員への教育

## 2 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた動きについて

国民の関心事である2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向け、本市は具体的にどのような動きをしていく考えであるか。

(1) キャンプ地の誘致について

(2) 聖火リレーについて

## 3 小林駅周辺整備について

本来、4月に小林駅南口ロータリーは供用されるはずであったが、未整備である。南口ロータリーやJR用地内を含め、周辺整備についてはどのように進めていく考えか。

## 4 道路整備について

本市における重要幹線の整備や利便性向上について、どのように具体的対策を講じていく考えであるか。

(1) 市道00-031号線について

(2) 市道物木滝線、すずかけ通りについて

(3) 北千葉道路について

①小室地区より以西について

②いには野地区より以東について

# 質 問 9

質問者 14番 山 本 清

## 1 北総線運賃値下げについて

- (1) 北総線運賃値下げが必要だ、という「公理」は、だれでも口にするが、具体策を打ち出すことができる首長、議員はほとんどいない。市長は今、どんな方法で値下げを形にしようと考えているか。
- (2) 北総鉄道と、京成電鉄の100パーセント子会社である千葉ニュータウン鉄道との線路使用料契約の改定時期が近づいている。現在の契約は、高砂・小室間で北総鉄道が稼いだ運賃を全額、線路使用料として千葉ニュータウン鉄道に渡す、という不合理なものである。一方で、京成電鉄は、スカイライナーの線路使用料を一円も受け取っていない。このような不合理な「線路使用料のアンバランス」を正すための絶好のチャンスが到来し、来年は北総鉄道と千葉ニュータウン鉄道の線路使用料契約の更新が10年ぶりに実施されるが、印西市としては、どのような方針で発言していくのか。
- (3) 上記のような「線路使用料のアンバランス」は、北総鉄道の株主の利益を毀損しているが、株主である印西市として、株主代表訴訟を提起するつもりはあるか。会社法の研究は進んでいるか。
- (4) 現在の北総鉄道の運賃体系が独占禁止法に違反している、との指摘が、独禁法の専門家から出されている。独占禁止法と北総鉄道運賃について、印西市の見解はどのようなものか。

## 2 横断歩道の補修は、どうなっているか。

## 3 印西市の法務行政について

- (1) 印西市が訴訟で訴えられた場合、どのような態勢で応訴することになるのか。準備書面は、だれが準備するのか。昨年度の訴訟では、具体的にどのような態勢で応訴したか。
- (2) 弁護士を入れる場合に、弁護士の方針をチェックするのは誰か。
- (3) 庁内に、法務の専門家はいるのか。弁護士資格、公認会計士資格、司法書士資格、行政書士資格を持つ職員は何人いるか。

## 4 英語教育について

- (1) 朝日新聞、日本経済新聞などの報道によれば、2020年度、つまり、現在の中3が受験する大学受験の入試として使われる「新・共通テスト」

の英語科目の試験が、英検と TOEFL になる。TOEFL は受験料が高く、対策が難しいため、事実上は大多数が英検を利用することになる。このような大学入試が 2020 年度からスタートする、ということになれば、現在の中学生は全員、英検（または TOEFL）を受験することになるが、今、その対策として、どのような英語教育の改革が印西市では実施されているか。

- (2) 教育センター、各小中学校での対応はどうか。
- (3) 小学生が印西市内で英検を受験することが可能になる見通しはあるか。
- (4) 高校 3 年の時に、英検準 1 級、2 級を受験することになる中学生を教える先生たち自身が英検を取らないわけにはいかない。市内の小中学校の英語教員の英検取得を支援する態勢は、どうなっているか。

## 5 小中学校の部活について

- (1) 公立学校における「部活ブラック」の状況が最近、報道されている。印西市の小中学校における部活は、どのように行われているか。
- (2) 部活の指導のために先生が従事する時間数は、毎週、何時間か（平均値）。
- (3) 生徒が部活をしている時間は、何時間か（平均値）。
- (4) 中学生が週に 15 時間から 20 時間、部活をすることになった社会的背景は何か。
- (5) 小学生が運動・合唱のために課外活動をしている時間は、何時間か（平均値）。
- (6) 小中学生の部活、課外活動は、強制か、それとも任意か。

# 質 問 10

質問者 9 番 海 老 原 作 一

## 1 飼い主のいない猫対策について

環境省は、平成 22 年 2 月に「住宅密集地における犬猫の適正飼育ガイドライン」を策定しました。その中で、飼い主のいない猫の当時の現状について、全国の自治体で約 20 万頭の猫が収容され、その多くが殺処分され、また、殺処分されているほとんどが、不妊去勢手術をされていないために生まれた、生まれて間もない子猫であるとの記述があります。また、飼い主のいない猫も地域住民による適切な管理をすることにより、猫による様々な被害を減らしていくことができ、時間をかけて猫の数を減らしていくことが可能

であり、地域住民の合意のもと、それぞれの地域の実情に合わせたルールづくりが必要であるとしています。

また、千葉県においても、平成24年3月に「地域猫活動に関するガイドライン」を策定し、人と飼い主のいない猫が共生していくための有効な手段として地域猫活動をあげています。そこで、印西市における飼い主のいない猫対策について以下の質問をいたします。

- (1) 市民からの飼い主のいない猫に関する相談はどのような状況にあるか。
- (2) 平成20年8月に行われた猫に関する条例の制定についての市民提案に対して、印西市環境審議会はどのような答申を提出しているか。
- (3) 他市の飼い主のいない猫対策についての認識はどうか。
- (4) 印西市は飼い主のいない猫を減らしていく有効な手段をどう考えているか。
- (5) 印西市は地域猫活動に対する助成等について実施する考えはあるか。

## 2 印西市公共施設等総合管理計画について

印西市は、将来的に起こりうる人口減少や少子高齢化により、公共施設等の更新や管理に要する財源確保が困難となり、現存する公共施設等のすべてを維持管理していくことが困難になると想定し、平成29年3月に計画期間34年の印西市公共施設等総合管理計画を策定し、長期的な視点を持って公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するとしています。このような状況を踏まえ以下の質問をいたします。

- (1) 本計画は、公共施設等の個別計画の指針との位置づけだが、それぞれの公共施設等の個別計画はどのようなものと考えているか。
- (2) メンテナンスサイクルの構築とは具体的にどのようなことか。
- (3) 点検結果や修繕履歴等のデータベース化について
- (4) 予防保全とその財源について

# 質 問 1 1

質問者 11番 橋本和治

## 1 安全安心のまちづくり

- (1) 防犯カメラについて
  - ①市内の防犯カメラの設置状況を伺う
  - ②今後の防犯カメラの設置方針を伺う

- ③ 県補助金の活用の考えを伺う
- ④ 防犯カメラ設置に関し、町内会・自治会に対する補助金の考えを伺う
- (2) 防犯灯について
  - ① 防犯灯の設置状況を伺う
  - ② 防犯灯のLED化の状況を伺う
- (3) 市の公用車へのドライブレコーダー設置推進について
  - ① ドライブレコーダーの設置状況を伺う
  - ② ドライブレコーダーの設置の方針を伺う
- (4) シティチャージの導入について
  - ① 防災の観点から導入する考えはないか
  - ② 地域振興の観点から導入する考えはないか

## 2 人とペットとの共生について

- (1) 市として殺処分ゼロを目指して取り組む考えはないか
- (2) 殺処分ゼロに取り組むための財源として、ふるさと納税を活用する考えはないか
- (3) 人とペットの共生を目指す条例を制定する考えはないか

## 3 国民年金保険料の納付率アップについて

- (1) 市の納付率は、県内他の自治体と比べてどのような状況か
- (2) 納付率アップに向けて、市は具体的にどのように取り組んでいるか

## 4 自転車活用推進法制定に伴う本市の施策について

- (1) 同法に対する本市の認識を伺う
- (2) 同法第11条で、「市町村は、自転車活用推進計画を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じた自転車の活用の推進に関する施策を定めた計画を定めるよう努めなければならない。」とあるが、本市はいつまでにこの計画を策定する考えか
- (3) 同法第8条に規定する具体的な取り組みのうち、次の取り組みについて、市の考えを伺う
  - ① 専用道路や通行帯の整備について
  - ② シェアサイクル施設の整備について
  - ③ 交通安全の教育・啓発について
  - ④ 災害時の有効活用について
  - ⑤ 自転車を活用した地域活性化支援について

# 質 問 1 2

質問者 16番 軍 司 俊 紀

## 1 新学習指導要領について

小学校で2020年度（中学校は21年度）から全面実施となる新学習指導要領が3月に公示された。新学習指導要領は「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」といった新しい考えかたが入ってきたことに加え、「学習の基盤となる資質・能力」として情報活用能力をあげることなど、ICTに関する記述が増えていることが大きな特徴と考えている。市ではこの新学習指導要領にどのように取り組んでいくのか。

(1) 新学習指導要領の実施にむけて、平成29年度は周知の期間と位置付けられている。

①教職員への周知について、市では具体的にどのように考えているのか。

②市民への周知についてはどのように考えているのか。

(2) 新学習指導要領のもとで教育の情報化や情報教育はどのようにすすんでいくのか。

①文科省では「平成27年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査」を行なった。調査結果は既に公表されているが、市ではこの結果についてどのように受け止めているのか。

②市内の小学校では新学習指導要領に従って、今後、市では具体的にどのように情報教育に取り組んでいくのか。

## 2 子ども・子育て支援について

厚労省では「一億総活躍社会の実現に向けた取組について」を昨年発表し、出産後・子育て中も就業が可能な多様な保育サービスの充実を目指すとしている。今年度、市では具体的にどのような事業に取り組もうとしているのか。

(1) 保育園について

①「保育所等整備交付金」の申請についてどのように考えているのか。

②「保育対策総合支援事業費補助金」の申請は行なうのか。

③内閣府の予算である、「地域子ども・子育て支援事業」についてはどのように捉えているのか。

(2) 学童保育について

①保育園の待機児童増大は、子どもの成長に伴い、「学童保育に入れないのでは？」という保護者からの心配に繋がってきている。市では学童保育を必要とする家庭についてどのように応えていくのか。

### 3 北総鉄道について

北総線の利便性向上・運賃の値下げに対する取組に向けて、県や沿線自治体、鉄道事業者と今年度具体的な連携をし、対応作業は予定されているのか、以下を問う。

- (1) 沿線自治体では北総鉄道に対してどのような対応をとっているか把握されているのか。
- (2) 住民の利便性向上の一つとして「時差回数券」の適用時間拡大ということがあがっていたが調整は行なわれているのか。

### 4 印西牧の原駅圏の将来について

#### (1) 交通安全に関すること

①学区変更により、原小学校区から西の原小学校区に変わったエリアでは交通量の多い信号のない交差点を渡らなければならない、保護者から対応を求められている。(昨年度に設置をするような話を聞いていたが、設置されていない。) いつ事故が起こってもおかしくない、この状況を市ではどのように考えているのか。

②小学校前の道路白線については一部のみ再塗装されているようだが、例えば原小前のカーブ部分については、車のはみ出し走行もあり、いつ事故につながってもおかしくないと考えている。早急に対応すべきだと思うができないのか。

#### (2) 防犯に関すること

牧の原南地区の通学エリアが拡大する中で、市では通学路への防犯カメラ設置に関する検討は行われているのか。(昨年第3回定例議会で具体的な自治体名を紹介し、質問しているがその後の検討は進んでいるのか。)

#### (3) 原南地区(草深)エリアの開発について

市民より、住環境や自然環境の悪化、井戸の大量掘削による水量減少や水質悪化、生活排水の急増による印旛沼に通じる河川の環境悪化等についての懸念が心配されているが、市では現状をどのように捉え、今後の対策をどのように考えているのか。



# 質 問 1 3

質問者 7番 浅 沼 美 弥 子

## 1 若い世代の結婚・出産・子育て支援

### (1) 安心して結婚・出産できる環境づくり

#### ①若い世代の結婚機会を提供する取り組みについて

広域連携による婚活事業や結婚相談等の検討状況を伺います。

#### ②積極的な妊娠・出産の支援について

特定不妊治療費、不育症治療費助成による経済的支援の拡充、健康相談の充実、地域ぐるみの出産支援の取り組み等の検討状況を伺います。

### (2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

#### ①里帰り出産時の県外予防接種事業の進捗状況を伺います。

#### ②産後ケア事業等宿泊型子育て支援の状況について伺います。

#### ③産後健診助成事業を実施する考えはありませんか。

#### ④家庭訪問型支援の拡充について

子育てヘルプサービス、乳幼児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業について伺います。

#### ⑤子育てコンシェルジュ設置の効果等について伺います。

#### ⑥外国人妊婦支援の必要はないか伺います。

#### ⑦孫育て応援帳等の進捗状況を伺います。

#### ⑧子育て包括支援センター設置の進捗状況を伺います。

## 2 発達障がい児等の支援

### (1) 早期発見等のための「Kao TV」の導入の考えを伺います。

### (2) 発達支援センターの官・民設置の状況について伺います。

## 3 認知症施策について

### (1) 早期発見のための「物忘れ相談プログラム」活用について

### (2) オレンジカフェ等の取り組み状況について

### (3) 認知症初期集中支援チーム設置の進捗状況について

### (4) 成年後見人制度の進捗状況について

## 4 感染症予防・拡大対策の推進状況、課題等について伺います。

# 質 問 1 4

質問者 10番 近 藤 瑞 枝

## 1 公共施設の洋式トイレ化について

印西市では、市立小中学校の洋式トイレ化が着々と進められているが、学校以外の公共施設の洋式トイレ化について、市はどのように考えているか。

現在、一般家庭のトイレは90%以上が洋式であるといわれ、外出時においても洋式トイレを使用する人が多いと思われる。特に、和式トイレに馴染みのない子どもや膝・腰などに故障を抱える人のために、早急に公共施設の洋式トイレ化を進めるべきと考える。市の見解を伺う。

- (1) 現在の状況について
- (2) 今後の計画について

## 2 市立学校施設の老朽化対策および修繕計画について

印西市内の小中学校は、千葉ニュータウン内の一部の学校を除いた多くが建築後30年以上を経過しており、老朽化対策が大きな課題となっている。また、ニュータウンの学校においても、経年劣化により安全面や機能面に様々な不具合を来している。子供たちにとって適正な学習環境を整えるため、学校施設の老朽化対策および修繕計画について伺う。

- (1) 学校施設の長寿命化計画について
  - ① 今後の大規模改修計画について
- (2) 学校からの修繕依頼に対する対応について
  - ① 優先順位はどのような基準か。
  - ② 西の原小学校体育館のバスケットゴールについて
  - ③ 滝野小学校校庭の砂利の露出について

## 3 ふるさと納税について

平成20年に創設されたふるさと納税制度により、平成25年には140億円以上が自治体に寄付され、10万人を超える人が寄付による税金の控除を受けた。平成27年にはふるさと納税ワンストップ特例制度が創設され、年に5自治体までの寄付は確定申告不要となり、また、控除の上限額は約2倍となった。

過熱する自治体間の競争を危惧した総務省は、本年、平成29年4月1日付けで通達した「ふるさと納税に係る返礼品の送付等について」において、返礼割合は3割以下にすることと通知した。

そのような中で、印西市は、これまでの実績をどのように分析し、今後の

方針をどのように立てているのかを伺う。

- (1) 印西市におけるふるさと納税制度の状況について
- (2) 今後の方針について

#### 4 防犯カメラ設置について

年々深刻化する犯罪防止・抑止および迅速な犯人検挙ため、以前より防犯カメラ設置を要望する市民の声が上がっていた。先般、近隣で保護者会会長により登校途中の少女が殺害されるという痛ましい事件が発生し、市民からの防犯カメラ設置要望は切実さを増した。

印西市議会の一般質問にも度々取り上げられ、執行部は、「配慮すべき事項を定めるためのガイドラインが重要であると考えており、まずはその策定を進めている。」と答弁している。

現在の状況と予定を伺う。

- (1) 市民の防犯カメラ設置要望を把握しているか。
- (2) ガイドライン策定の状況はいかがか。
- (3) 町内会・自治会および商店街・組合などが防犯カメラを設置する場合の補助について、どのような調査研究を得たか。

## 質 問 1 5

質問者 6番 櫻井正夫

#### 1 宗像小学校の統廃合について

- (1) 教育委員会事務局では、平成30年4月に「いには野小」と統合を進めていると聞いたが本当ですか。
- (2) 宗像小学校区内の地区長さんたちが小学校存続について「住民アンケート調査」をしたと聞いたが、把握していますか。
- (3) 4月に新1年生として入学したのは、2名だそうです。校区外の学校に入学した児童は何名いましたか。
- (4) お隣の佐倉市では、弥富小学校を「小規模特認校」として学校を将来に向けて存続させていく取り組みをしているみたいですが教育長は、その取り組み及び、目的、内容等を御存じでしょうか。

#### 2 有害鳥獣駆除について

- (1) 現在の被害状況をお聞きします。

- (2) 前定例会の質問で被害地域の農家が有害鳥獣を駆除する組織を立ち上げる事に市が協力する。と答弁頂きましたが、立ち上げは進んでいますか。

### 3 狹隘道路の拡幅整備について

- (1) 市内のいわゆる2間道路はどの位あるのか、現状を伺う。  
(2) 行き止まり道路はどの位あるのか、現状を伺う。

## 質 問 1 6

質問者 17番 金丸和史

### 1 防犯カメラ設置に関する事

- (1) 市域全体の設置について、市は今後どのように考えているのか。  
(2) 公共施設の設置はどのような状況か。  
(3) 設置について要望書を提出している小中学校もあるようだが、各小中学校への設置については検討しているのか。

### 2 小倉台小学校に関する事

- (1) 通学路の安全対策について  
①「安全プログラム」は徹底されているのか。⇒学校現場・関係機関・関係各課  
②通学路安全点検の結果の公表はどのように行っているのか。  
③イオンモールとの調整は進んでいるのか。  
④平成28年度に施工した新自転車通行表示をどのように評価しているのか。  
(2) 新校舎の増築について  
①業者は決定したのか。  
②工事予定はどのようになっているのか。  
③通常の教育活動に支障は出ないのか。  
④トイレを増やすことは可能であるのか。  
⑤現場の声は取り入れられたのか。  
(3) 新校舎以外の改修工事について  
①どの箇所の改修を予定しているのか。

### 3 公立小中学校における「学校評価制度」に関する事

- (1) 全学校の取り組み状況
- (2) 評価項目の一部を揃える考えは。
- (3) 公表の状況はどのようになっているのか。

#### 4 「印西クリーンセンター」に対する印西市の考え方に関すること

##### (1) 指定廃棄物についての印西市の考え方

- ①現在、保管している指定廃棄物の放射線の測定は行っているのか。
- ②定期的に近隣自治会等への説明を行うべきと考えているが、今後、このことをどのように説明していく考えか。
- ③指定廃棄物についての印西市の基本方針は。  
今後、どのように環境整備事業組合に方針を伝えていくのか。

##### (2) 次期中間処理施設の負担金について

- ①全施設が印西市にある現状で、今後の負担金の在り方は議論しているのか。
- ②市内に立地している「環境整備事業組合」の施設に対し、印西市だけに立地していることを考慮に入れた負担割合の議論をすべきと考えるが、どのように考えているのか。

#### 5 「労働条件審査」に関すること

- (1) 担当課長が変わり、動きに変化はあるのか。(今後の動向は。)

## 質 問 1 7

質問者 1 番 伊 藤 真 一

#### 1 小規模・家族経営農家への取り組みについて

近隣の農家より、「機械が1つでも壊れれば、田んぼは止めるしかない」との声が多く聞かれ、実際にその様になっている現状ですので質問します。

- (1) 小規模・家族経営農家への補助の必要性について、市としての考えを伺います。
- (2) 今後の小規模農家に対する農業用機械への助成の取り組みについて伺います。

#### 2 JR 成田線の利便性向上について

JR 成田線（我孫子～成田）利用者から、昼間の電車の本数を増やして欲し

いとの声がありますので質問します。

- (1) 昼間の増便の必要性について、どの様に考えているか伺います。
- (2) 今後の昼間における増便についての対策を伺います。

### 3 市道における大型車通行の対応について

住民より改善要望がありましたので、質問します。

- (1) 小林の「すずかけ通り」の一部のつなぎ目による、騒音・振動の改善の必要性について伺います。
- (2) 通りへ入る箇所の、設置看板の改善（夜間でも見やすく）について伺います。

## 質 問 1 8

質問者 3番 小 川 利 彦

### 1 防災強化について

- (1) 市内の生活環境の異なる地域への防災対応について
  - ①既存地区とニュータウン地区の対応について
  - ②全国瞬時警報システム（J-ALERT）発令後の市の対応について
  - ③災害発生時の公助について

### 2 市内のヤードについて

- (1) 印西市としてヤードの見解について
  - ①ヤードの実態について
  - ②千葉県や警察と連携について
  - ③市としての対応の考えについて

### 3 交通不便地域対策について

- (1) 庁内協議の状況について
- (2) 実態調査について
- (3) 結論について